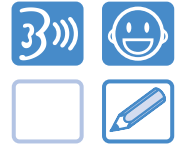


4-4

いつも・ときどき・あまり♡



活動

せいかつしゅうかん はな き
生活習慣について話す／聞く。

かたち



時間

せつめい編

文-10 あまり...否定 ひてい

談話の技術

準備するもの

使うことば

いつも、ときどき、あまり、朝あさごはん、
 (食べる) 朝あさ、新聞しんぶん、読む、夜よ、(テレビ)
 見る、日曜日にちようび、部屋へや、掃除そうじ〔する〕
 散歩さんぽ〔する〕、する

手 順

1. クラスを5、6人のグループに分ける。
がくしゅうしゃ 学習者はそれぞれノートに下のような表をかく。
2. <モデルテキスト>(1)の ~ の行動について、自分の生活習慣せいかつしゅうかんに合わせて「いつも、ときどき、あまり」などを表に書く。
3. 学習者はそれぞれ表を見ながら、自分の生活習慣せいかつしゅうかんについて<モデルテキスト>(2)のように、グループの中で発表する。
4. ほかの人は聞きながら「いつも、ときどき、あまり」をノートの表に書く。「～ません」のときは×をつける。
5. グループでおたがいのノートを見て、確認する。
6. それぞれグループの中の1人がみんなの前でグループの ~ の中の一つの結果を<モデルテキスト>(3)のように発表する。

| | わたし(A) | Bさん | Cさん | Dさん | Eさん |
|---|--------|-----|------|-----|------|
| ① | いつも | | | | |
| ② | ときどき | | | | |
| ③ | あまり | | | | |
| ④ | いつも | あまり | ときどき | × | ときどき |
| ⑤ | × | | | | |

モデルテキスト

- (1) ① 朝あさごはんを 食たべます。
② 朝あさ、新聞しんぶんを 読よみます。
③ よる、テレビを 見みます。
④ 日にちよう日びに へやを そうじします。
⑤ 日にちよう日びに さんぽします。

(2) Aさんの例れい

- ① わたしは いつも 朝あさごはんを 食たべます。
② わたしは ときどき 朝あさ、新聞しんぶんを 読よみます。
③ わたしは あまり よる、テレビを 見みません。
④ わたしは いつも 日にちよう日びに へやを そうじします。
⑤ わたしは 日にちよう日びに さんぽしません。

(3) 報告ほうこく

- わたしは いつも 日にちよう日びに へやを そうじします。
Cさんと Eさんは ときどき 日にちよう日びに へやを そうじします。
Bさんは あまり 日にちよう日びに へやを そうじしません。
Dさんは 日にちよう日びに へやを そうじしません。

先生へ

・「あまり」には頻度(回数)と程度(数や量など)の意味がある。たとえば、「あまり朝ごはんを食べません」は「朝ごはんを食べる回数が多い」という意味と「朝ごはんの食べ物の量が多い」という意味がある。これは文脈によって使い分けられる。ここでは、「いつも」、「ときどき」とともに頻度(回数)として練習する。